

表紙作品について

宮川春汀 (1873~1914) 「小供風俗 瓢箪ぼっくり」
みやがわしゅんてい こどもふうぞく ひょうたん

明治29年(1896) 大判 木版多色 版元=秋山武右衛門

学校法人城西大学水田美術館蔵

瓢箪ぼっくりは「芋虫ころころ」ともいう、芋虫の這う様子を真似した遊び。一列につながってしゃがみ、「いもむしころころ、ひょうたんぼっくりこ」と唄いながら体を左右に揺すって前進し、決まり文句の掛け合いで列の順番を変えていく。習い事や日常の遊び、潮干狩りなど四季折々の遊びや行事を楽しむ少女たちを描くシリーズの1図。明治29~30年に24図刊行された。子どもの遊びを題材にした江戸の錦絵を継承しながら、淡い色調と柔らかな筆づかいで子どもの風俗が優美に描かれ、強烈な色彩の明治の錦絵と一線を画す雰囲気をもつ作品である。

宮川春汀は愛知県に生まれ、上京して富岡永洗に学び、はじめ蓬齋宮川洗圭と号し、『風俗画報』の挿絵画家として活躍。少年・少女風俗や美人画の版画シリーズで評判を集める。単行本の口絵や少年向けの歴史小説の挿絵も手がけた。

(解説：城西国際大学水田美術館)

発行日	2013年1月31日 城西国際大学 日本研究センター紀要 第7号 第3回中日文化比較研究 国際シンポジウム共催記念論集
発行所	〒283-8555 千葉県東金市求名1番地 城西国際大学 日本研究センター TEL 0475-55-8800 (代表) 日本研究センター URL http://www.jiu.ac.jp/japan/
編集	日本研究センター刊行物編集委員会
発行者	水田宗子
印刷所	株式会社 正文社 〒260-0001 千葉県千葉市中央区都町1-10-6 TEL 043-233-2235
